

2023.10.10

長野県発行のグリーンボンドへの投資について

「久世福商店」、「St.Cousair（サンクゼール）」、「MeKEL（メケル）」などの専門店を全国に約160店舗展開している、食品製造小売企業（食品SPA）の株式会社サンクゼール（本社：長野県飯綱町/代表取締役社長：久世良太）は2023年10月6日（金）、長野県が発行する「長野県令和5年度第3回公募公債（グリーンボンド（10年）」への投資を決定いたしました。

本債券の発行による調達資金は、2050年度の二酸化炭素（CO2）排出量実質ゼロの達成（緩和）と気候変動に起因した、自然災害による被害の回避・軽減（適応）に向け、長野県が取り組む下表の環境事業に充当されます。

分類	事業内容
再生可能エネルギー	小水力発電所の設置
クリーン輸送	しなの鉄道の車両更新に対する補助
エネルギー効率	県有施設の新築・改修・設備等の更新 （空調設備の更新、照明のLED化）
気候変動への適応	水害対策のための河川改修 農業用ため池の回収 土砂災害対策のための砂防、治山、地すべり、急傾斜地崩壊対策 交通インフラ整備（信号機電源付加装置、道路防災等）
生物自然資源及び土地利用に係る環境持続型管理	森林環境保全のための林道整備
陸上及び水生生物の多様性の保全	諏訪湖環境研究センター（仮称）の整備

サンクゼールの取り組み

サンクゼールは「愛と喜びのある食卓をいつまでも」をコーポレートスローガンに掲げ、私たちの事業活動を通じて全世界に愛と喜びのある食卓が増えることを目指し事業に取り組んでいます。この愛と喜びのある食卓を全世界のお客様に長期持続的に提供するために、サステナビリティに関する取り組みを、重要な経営課題として位置付けています。

サンクゼールは、サステナビリティに関する取り組みの実効性を確保するために、「ビジョン2035※1」として2035年までに目指す姿を具体化し、その実現に向けて7つの重要課題を特定し、グループ全体で課題に取り組んでいます※2。また、本ビジョンを通じて、サンクゼールが目指すサステナブルな社会及び事業の在り方を公にすることで、私たちの企業活動への寄与が持続可能な社会の実現に繋がるものであることを示し、パートナー（従業員）、地域社会、及びステークホルダーの皆様と共に、サステナビリティの取り組みを加速することを目指しています。

※1. ビジョン2035については、以下のリンクをご参照ください。

<https://www.stcousair.co.jp/company/policy>

※2. サステナビリティに関する取り組みについては、以下のリンクをご参照ください。

<https://www.stcousair.co.jp/company/sustainability>